特集/
雪国とやまニューウェーブ…P.4

エッセイ
「雪の利用への富山の挑戦」——表紙2

PIN UP TOYAMA
雪あそび——P.10

TRIP県政
富山県国際文化センター——P.12

ふるさとみてある記
下村——P.14

シリーズ：とやま心象
心の具現“建築賛歌”——表紙3

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

県広報
とやま

1989 2
No.241

薬膳――漢方薬を入れた料理がブームをよんでいます。不破利民さんは、仕掛人の一人。十五歳で中国料理の道に入り、五年前に富山へ。生薬の専門家・富山医科薬科大学の難波教授との出会いがきっかけになりました。

「薬膳は中国料理の一分野なので興味は持っていたのですが、生薬を扱うのは初めて。温度による変化など物理的性質をつかむのには苦労します。味、香り、量、他の生薬や普通の食材とのバランスを考えながら試していきます。」同じ種類でも産地によって全く性質が違うこともあるとか。

「薬膳は、料理に対する考え方。生薬を入れなくても、食事で病気を防ぎ、直すという考えで作れば薬膳といえます。薬膳が食習慣に自然に溶け込むようになれば日本の食生活も豊かになるのでは。」

中国料理の店を経営する傍ら、一昨年に結成した「健康薬膳友の会」で腕を奮ったり、講習会を開いたりと普及に忙しい不破さん。難波教授と薬膳の本も出しました。

「薬膳で中国料理の可能性がどんどん広がります。和・洋・中、つき混ぜたコースを作りたいですね。」富山に新しい食文化が生まれそうです。

新しい素材と新しい味に出会えるのがおもしろくて。

薬膳料理　不破利民さん

エッセイ

雪の利用への富山の挑戦

富山大学教授（雪氷学）　対馬勝年

日本で最初の雪氷学講座が八年前に富山大学に誕生した。そして、最初に迎えた冬が雪対策の原点を見直す契機となった五六豪雪であったことは不思議な巡り合わせといえる。

中沖知事は「今日の発達した科学技術と一定の努力をもってすれば、必ずや厄介物の雪を我々にとって有益なものに変えることができる」に違いないと宣言した。総合雪対策会議を発足させるとともに県民総ぐるみの雪対策を展開して、克雪・利雪を含む多方面の課題が研究され、一方、四年余りに渡り県内各地で雪を見直すシンポジウムが展開された。凄まじいほどの雪との取り組みについて、県外の雪問題担当者や雪氷の研究者からおほめの言葉を耳にするのは快かった。

私どもの雪氷学講座も新鮮な研究テーマの一つとして雪の資源・エネルギー利用の研究を考えていたので、県の雪対策の思想と相助け合う面を持つことになり、効果を挙げた。雪の冷熱を発電や、建物冷房に利用する研究が開始され、長期の貯雪など新しい試みが行われた。

老人から子供までを巻き込んで展開された雪のシンポジウムや雪を見直す啓蒙パンフレット、放送等を通して、克雪から利雪への精神革命が果たされていったと思われる。この画期的な運動は遂に国の政策を動かすところとなり、第四次全国総合開発計画に利雪の思想が取り入れられ、六十三年度の豪雪白書とも言うべき「豪雪地帯の現状と対策」には国として利雪を推進してゆくことが明確に位置づけられるにいたった。

振り返ると十年前には雪の利用など考える人は殆どいなかったし、非現実味の多いものであった。ところが、保存が難しいと思われていた野菜が雪室の中に大量に、しかも長期に保存され、苗や球根類の発芽抑制に利用されるなど、農業において、めざましい雪の利用が行われるようになった。富山県も雪発電や貯雪、雪冷房に貴重な予算を裂いて豊かな雪国社会建設の足掛かりを得る努力を果たした。そして、今年の夏は上平村で住宅では最初の雪冷房実験が実現する運びとなった。

利雪への精神革命のなかで青年期を迎えた若い人たちとともに、今後も予想外の斬新な「雪の利用法」が産み出されて、本当に魅力ある雪国が造られることを願っている。

13万人が大満足「日本海なべ」

1月14日～16日

冬の人イベントが始まった！

第三回いきいき富山・日本海なべが一月十四日から十六日の三日間にわたり、JR高岡駅横の特設会場で行われました。

これは、日本海の豊富な海の幸をPRしようと企画されたもので今年で三年目。冬のビックイベントとしてもすっかり定着しており、昨年を二万人も上回る十三万人余りが詰めかけました。

「タラなべ」、「カニなべ」、カワハギやハマグリの入った「大漁なべ」の三つのなべの前には長い行列ができ、最高約五十分も待たされる人気ぶりでした。

また、中央ステージでは、民謡やアマチュアバンドの演奏が披露されたほか、百を超える出店があり、会場は終日大にぎわいでした。

雪にロマンを――「とやまスノーピアード'89」

1月15日～2月5日

富山城址公園と市産業奨励館では、二月五日までのロングイベント「とやまスノーピアード'89」が開幕しました。一月十五日、トップを切って行われたのは、「雪のふれあい市」と「左義長まつり」。小雪がちらつく中、大勢の人がつめかけました。

産業奨励館では、市社会福祉協議会による籐製品やガラス工芸品、婦人会による家庭用品、いとこ煮、手作り食品などの販売が人気を呼びました。また、奨励館前では、冬野菜の販売やもちつき大会も行われました。

午後からは、城址公園に作られた三基の左義長に点火。集まった人々は無病息災を祈りました。

また、この日からはホワイトイルミネーションも点灯。富山駅から市公会堂までを一万三千の電球が飾り、冬の夜にロマンをかもしました。

特集

雪国とやまニューウェーブ

ここ数年の暖冬続き。少ない雪に、喜んでいる人もいれば物足りないと感じている人もいるのでは。「雪なんて降らなければいいのに」と思う反面、降らないとスキーができないし、水不足などさまざまな影響が出てきます。

雪は本当にやっかいなものでしょうか。ずっとずっと昔から雪は降ってきました。そして、わたしたちは雪とともに暮らしてきました。雪からたくさんの知恵や文化が生まれました。良質の水、豊富な電力、おいしい米や山海の幸……すべて雪のおかげです。雪は、富山に住む人に限りない〝富〟を〝山〟と与えてくれているのです。

雪にすまう

雪おろしなしの三つの知恵

雪で困ることのトップは雪おろし。重労働と大きな危険を伴う雪おろしは、高齢化社会の到来とともに大きな問題になっています。雪おろしがなかったら、もっともっと快適な冬が過ごせるはずです。そこで、県では「雪に強い住宅づくり」の一つとして雪おろしの必要がない住宅の研究をすすめています。

載雪型住宅

二メートルまでの積雪に耐えられるように、柱や梁などの部材を太くしました。都市部などの雪捨て場のない地域に適しています。使う木材の量が多いので多少コストアップとなりますが、全体の建築費から見ると、三～四パーセントの増加ですむことがわかりました。

上市町・和合住宅がモデル住宅になっています。

融雪型住宅

家庭用ボイラーで沸かした湯で不凍液を温め、屋根の下に敷いた温水パイプに循環させます。その温度で屋根に積もった雪を融かすものです。熱源には石油やガス、電気などを使います。

富山市月岡の融雪モニター住宅で実験中です。

自然落雪型住宅

豪雪時には、三～四メートルもの雪が積もる上平村では、克雪タウン計画事業として、自然落雪型の村営住宅モデル実験を進めています。これは、屋根雪を自然のままに滑り落として、軒下の融雪池で溶かすものです。屋根は雪が自然に落ちるように金属板葺きにし、棟には雪を分断する雪割がつけられています。高床になっているため、積雪で眺めがさえぎられることがなく、高窓から採り入れられる光が室内を明るくしています。ふんだんに使われた木や自然石、しっくいの壁が回りの景観と調和しています。

ここでは、地中の貯熱槽に雪をたくわえて夏の冷房に利用しようという、多用途地下蓄熱槽の実験もしています。

載雪型住宅（上市町営和合住宅）
所在地／中新川郡上市町和合地内
連絡先／上市町役場 0764-72-1111

融雪型住宅（富山県融雪モニター住宅）
所在地／富山市月岡グリーンタウン地内
連絡先／富山県建築士事務所協会 0764-42-1135

自然落雪型住宅（上平村営新屋住宅）
所在地／東砺波郡上平村新屋地内
連絡先／上平村役場 0763-67-3211

雪が似合う街づくり

このような新技術の導入や、建築的工夫は、わたしたちを「雪おろし」から解放し、雪とともに暮らす舞台としての富山はもっと住みよくなるでしょう。そのため、県では住宅融資や技術指導を行っていますが、もうひとつ考えておきたいことがあります。それは、「雪おろし」さえなければどんな住宅でも良いのか？ということです。ここで紹介した三例は、それぞれのスタイルで雪を克服していますが、それにもまして街なみデザインや地域風土に合うように設計されています。

こんなハードとソフトの両面から雪に取り組もうという姿勢から、雪の似合う街、雪の似合う家が生まれています。ぜひ、あなたも自分の目でお確かめください。

雪に強い家づくりのために。
富山県住みよい家づくり資金融資

対　象／耐雪住宅、消融雪住宅、自然落雪住宅など
融資額／新築　三百二十万円以内
　　／改良・中古住宅　二百万円以内
償還期間／新築　二十年以内
　　／改良・中古住宅　十年以内
融資利率／年五パーセント
※さらに地域優良木造住宅融資として最高二百五十万円の割増融資を受けることもできます。詳しくは、県庁建築住宅課へ。

雪とあそぶ

子供の頃を思いだしてください。スキーをしたり、雪合戦をしたり、かまくらや雪だるまを作ったり、雪は絶好の遊び相手だったはずです。せっかくの雪、うまく使って遊ばない手はありません。

県内スキー場がぐんと充実しました。牛岳スキー場のナイターゲレンデは、距離三キロ、幅二百メートルと日本最大級に。また、夢の平にもナイター設備が完備されました。アフターファイブはスキーなんていうのもすてきですね。

そして、県内各地では、おいしいイベント、あったかいイベントがいっぱい。楽しい冬を見つけてください。

雪の巨人ゲレンデ

2月12日まで	こすぎ雪だるま親雪運動（小杉町の各家の軒先に雪だるまが勢ぞろい。写真コンテストもあります。）
2月20日まで	日本海グルメフェスティバル（氷見市灘浦海岸沿いの旅館・民宿では、寒ブリなど冬の日本海の新鮮な味覚を十二分に楽しめます。旅行券、生魚が当たる抽選会も実施中）
2月28日まで	イルミナイトとやま'89（富山市中央通りをイルミネーションで飾ります）
2月5日まで	とやまスノーピアード'89（富山市城址公園） ホワイトイルミネーションとやま（期間中、駅前から公会堂までを一万三千球余りの電球で飾ります） とやまの観光と陶芸5人展（茶会とくらしのいけ花展）
3～5日	日本海を食べるふるさとの味通り
4～5日	ちびっこ雪まつり
5日	宇奈月温泉雪のカーニバル（宇奈月温泉街：花火大会、雪像展、綱引き大会など）
2月4日～5日	冬季県民レクリエーション大会「雪のシンフォニー」
2月5日	黒部っ子雪のフェスティバル （黒部市・宮野運動公園：雪上運動会、雪上自転車モトクロス大会、左義長、手作りソリ競争など） 入善雪っ子まつり（入善西中学校グランド：雪像コンテスト、雪上運動会など） 歩くスキーフェスティバル（小杉町・太閤山ランド） 閑乗寺あつあつもなべ祭り（井波町・閑乗寺スキー場：特産のさといもを賞味） さるくら雪のカーニバル（大沢野町・猿倉山スキー場：宝さがし、ソリ大会など） 雪のファンタジーコンサート（県民会館ホール：高校吹奏楽部による華麗なステージ） 井口雪まつり（井口小学校グランド） 福野冬のふれあい市（福野町・産業文化会館前広場） 全国中学校スキー大会（立山山麓スキー場） 利賀そば祭り'89（利賀村村営グランド） 剣岳雪のカーニバル（上市町・北アルプス文化センターほか：ミスコンテスト、くま鍋など） あさひ雪まつり（朝日町民公園：雪の絵画づくり、雪だるま大行進、ミニスキーリレーなど） 上平雪まつり（上平村総合グランドほか：カンジキカントリー選手権大会、民謡の夕べなど） 閑乗寺高原スノーファンタジー（庄川町・閑乗寺いこいの広場：宝さがし、迷路、運動会など）
2月11日～12日	
2月12日	
2月7日～9日	
2月10日～12日	
2月11日	
2月18日	89ひみっこ雪のカーニバル（氷見漁港周辺：雪像コンクール、雪上ゲーム、大漁鍋など）
2月18日・19日	大沢野雪まつり（大沢野小学校グランドほか）
2月19日	小杉冬のふれあい市（小杉町社会福祉会館前）
2月25日	いきいき富山自作ソリ競技大会（ゴンドラスキー場）
2月25日・26日	ゴンドラ雪の祭典（ゴンドラスキー場：たいまつ滑降、ディスコ大会、雪の女王コンテストなど）
2月26日	こきりこ味まつり（平村こきりこ会館・五箇山の伝統料理を賞味）
2月27日・28日	あったかフェスティバルYOU・遊・友（城端中学校：丸太引き、宝さがし、がまん大会など）
3月4日・5日	オガサカジュニアカップあわすの大会（粟巣野スキー場）
3月5日	極楽坂スキーフェスティバル（極楽坂スキー場）
3月12日	立山山麓少年滑降大会（国立立山少年自然の家）
3月19日	猪谷雪まつり（細入村・JR猪谷駅周辺：ラッセル車、ロータリー車などの試乗、もちつき大会など）
3月21日	つごもり大市（城端町）
3月26日	残雪を楽しむ少年のつどい（国立立山少年自然の家：歩くスキー、雪上レクリエーションなど） 牛岳ユートピアG・SL大会（山田村） 宇奈月温泉スラローム大会（宇奈月温泉スキー場） 牛岳スキー場感謝デー（山田村） サロモンカップ・クロスカントリー粟巣野平大会（粟巣野スキー場） 極楽坂大回転競技大会（極楽坂スキー場） カザマカップ粟巣野G・SL大会 タカンボースラローム大会（上平村） 立山山麓ファイナルスラローム大会（ゴンドラスキー場） サヨナラ粟巣野大会（粟巣野スキー場） 牛岳ジュニアS・GSL大会（山田村・牛岳スキー場）

雪とくらすために

順調にすすんでいます 雪対策

県では、「雪に強いいきいき富山」の創造をめざして、昭和六十年に「総合雪対策条例」と「総合雪対策基本計画」を制定しました。その内容は、雪害のないまちづくりや産業の雪害防止、雪災害対策、雪の利用など克雪から利雪、親雪まで多岐にわたっています。この計画の主なものの進みぐあいは次のとおりです。

雪対策の進みぐあい（主な指標）

整備目標	単位	62年度末	63年度末予定	目標（65年度）
消雪装置延長	km	298	331	356
流雪溝延長	km	56.8	60.6	63.0
県管理の道路除雪延長	km	2,157.3	2,160.4	2,168.0
歩道除雪延長	km	251.4	290.3	221.0
冬期野外活動指導者の養成	人	336	373	420

道路除雪計画

今冬の除雪は、県管理道路延長の九一・一パーセントにあたる二千百六十・四キロを対象にし、次の四つを重点に進めます。

①歩道除雪の推進
通園、通学路や歩行者の多い駅、主要なバス停などの歩道を重点に、昨年より三十九キロ増やし、二百九十・三キロにします。また、除雪回数も増やし、レベルの向上に努めます。

②交差点除排雪の強化
別動隊を編成し、百九十六ヵ所の主要交差点を重点的に除排雪します。

③地域ぐるみ除排雪活動の促進
県内十三ヵ所でみなさんと県・市町村が一体となった一斉除排雪をします。

④ブロック別一括委託方式による除雪の試行
地域（ブロック）の除雪業者で企業体を作り、ブロック内の道路除雪を一括して委託します。今冬は、八地域でモデル実施し、効率的な除雪を進めます。

除雪機械では、県保有分を、十九台増やして二百二十八台にしました。また、民間からは常時三百五十九台を借り上げるほか、豪雪時の協力可能分六百八十五台を合わせると、最大千二百七十二台が出動できます。

また、除雪業務を合理化するため、全国で初めての除雪情報システムのモデル実験を富山土木事務所管内で実施します。これは、降積雪、除雪等の情報を自動収集し、これらをもとに除雪委託業者への除雪指示、作業報告などをパソコンで行うものです。今後、各土木事務所でも整備し、県民の皆さんへも路面状況などの情報提供をする予定です。

みんなのまちはみんなで除雪

除排雪の最大の力は、皆さんの協力です。作業をスムーズに行うために次のことにご協力ください。

①路上駐停車をしない
除雪作業の最大の障害は路上駐停車です。狭い雪道では、交通の大きな障害になります。

②道路に雪を投げ出さない
交通の障害になるばかりか、スリップ事故の原因にもなり、大変危険です。

③自宅前は、自分で除雪
歩道は、その地域の生活空間です。ぜひ自主的に除雪してください。

④地域ぐるみで除排雪を
土木事務所や市町村では、一斉除排雪日を設けて地域ぐるみで除排雪をします。積極的な参加をお願いします。

⑤流雪溝の使用は計画的に
流雪溝や水路等への無秩序な投雪により水があふれ、床下浸水などのトラブルが起きています。あらかじめ、地区の皆さんで話し合い、計画的に投雪してください。

☆町内会などで一斉に雪おろしをする場合は、あらかじめ市町村や最寄りの土木事務所へご連絡ください。

また、近くに雪捨て場がない場合も、ご相談ください。

☆県の除雪する道路についてのお問合せは、所管の土木事務所へ。

節水にご協力を

地下水を使った消雪

雪をとかすにはとても便利な消雪装置ですが、一斉に使われると地下水位が低下し、一部の家庭用井戸では、揚水に支障が生じています。地下水を利用した消雪装置を使っている方は、次のことにご協力ください。

・夜間に無人散水をしない

・降雪感知器の設定温度、バルブの調節をして不必要な散水をしない

土木事務所名	所管区域	連絡先
入善土木事務所	黒部市、入善町、朝日町、宇奈月町	入善町上野字八幡11473 ☎0765（72）1133
魚津土木事務所	魚津市、滑川市	魚津市新宿10の7 ☎0765（24）5311
立山土木事務所	富山市の常願寺川以東、舟橋村、立山町、上市町	立山町前沢2359の5 ☎0764（63）1101
富山土木事務所	上記以外の富山市、婦中町、山田村、八尾町、大沢野町、細入村、大山町	富山市舟橋北町1の11 ☎0764（41）2551
高岡土木事務所	高岡市、新湊市、砺波市、大門町、小杉町、大島町、下村	高岡市赤祖父211 ☎0766（21）9411
氷見土木事務所	氷見市	氷見市朝日丘9の24 ☎0766（74）0949
小矢部土木事務所	小矢部市、福岡町	小矢部市今石動町2の13の1 ☎0766（67）0262
福野土木事務所	城端町、平村、上平村、利賀村、庄川町、井波町、井口村、福野町、福光町	福野町寺家330 ☎0763（22）3524

（おてつだいします）

☆企業の消融雪設備のために
中小企業消融雪設備等設置促進資金
融資額／五千万円以内
償還期間／七年以内（据置期間一年以内）
融資利率／年四・一パーセント以内
※詳しくは、県庁中小企業課へ。

☆除雪機械の購入
地域ぐるみの除排雪をすすめるため、小学校区を単位として、小型除雪機械の購入を補助します。詳しくは、市町村役場へ。

インフォメーション
☆道路情報　道路交通情報センター　☎0764・32・2223
☆観光イベント　富山県観光連盟　☎0764・31・4111

PIN-UP TOYAMA

雪あそび

雪ってとってもやさしいんだよ
雪ってとってもあったかいんだよ
雪ってとってもふしぎだよ
ねっころがると、とても気持ちがいいよ
ぶつかっても、ちっとも痛くないよ
何だって作れるんだよ

撮影／池端　滋

ファッショナブルな出会い。国際交流のニューステージ。

……富山県国際文化センター

レポーター 田中貴恵さん（宇奈月町）

世間では、国際化が叫ばれ、海外に行く人や日本へやってくる人が増えています。ここ富山でも外国人を見かけるのは珍しくなくなりました。それに対応するため設立されたのが、富山県国際文化センターです。えっ、どこにあるのかですって!?それは、JR富山駅のすぐそばにあるマリエとやまの六・七階に陣取っているのです。

時時刻刻、とやま～生中継。
――『絵の出～時計台』

六階から訪ねてみましょう。まず目に付くのは、中央の広場にある六枚のテレビ画面です。名付けて、『絵の出る時計台』。

左右の四画面には県内の自然、祭などを紹介するビデオが常時流れています。中央上の画面は、雷鳥などのアニメで、それがとてもかわいらしく、とても気に入りました。そして、その下の画面では、呉羽山山頂にあるカメラからの生映像が見られます。このカメラ、ここからリモコン操作で好きな方向に動かせるのです。広角から望遠にすると、快晴の日には、立山の雷鳥が見れるかも!?残念ながらこの日は、雲がかかっていて山頂付近は見えませんでした。十時から午後八時まで、一時間ごとの時報は、六画面とも使った楽しいものとなっています。一見の価値はあるのではないでしょうか。

国際人への第一歩 とやま国際センター

次に、㈶とやま国際センターに行ってみましょう。入口右手には、ビデオブース、さらに入って行くと、青年サロン、国際交流ラウンジ、国際交流資料展示室、そして、一番奥にこのセンターがあります。こちらでは、国際交流のあらゆる事業に携わっていて、留学の相談も受けているそうです。

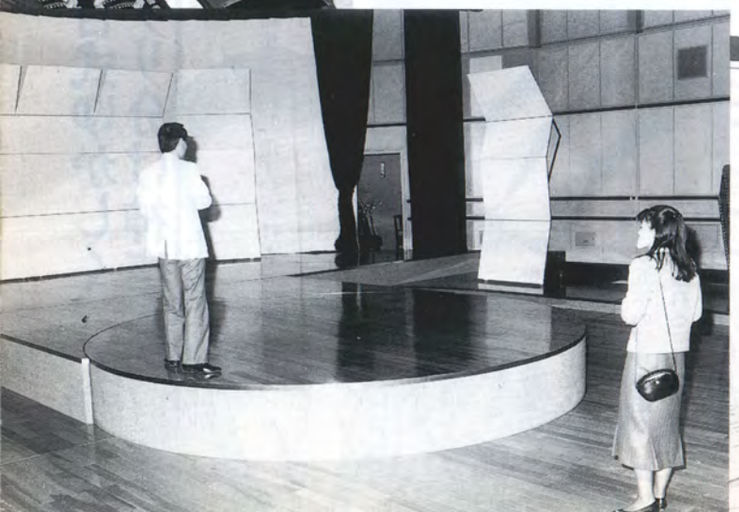
現在、県内には、様々な目的で三百人以上の外国人が在住しています。富山へ来る外国人は、これからも増え続けることでしょう。受け入れ側の私達は、やはり国際人の自覚を持たねばなりません。その第一歩として、この施設を利用するのも一つの手だと思います。こちらでは、外国人との座談会を企画したり、また、夕方になると外国人の方が交流を求めてやってくるそうです。英会話を習っても試す場がないと思っている人、外国人とお友達になりたいと思っている人、外国に興味のある人は、どんどん訪ねてみてはいかがでしょうか。

国際人となるには、海外に行くのも一つの手です。それには、どうしてもパスポートが必要です。これを発給している富山県旅券センターもこの六階にあります。ここには一日に、百人もの方が申請に訪れるそうです。いかに最近海外に行く人が多いかを物語っていますね。

奇抜な発想で利用したい多目的ホール――"オルビス"

最後に、七階にいきましょう。ここには、国際文化センターの目玉ともいうべき、多目的ホール『オルビス』があります。こぢんまりとはしていますが、このホール、ただものではありません。床が多分割されていて、それぞれが昇降するのです。その上、照明・音響の設備はテレビ局も顔負けです。アマチュアの皆さんにとってはうれしいかぎりではないでしょうか。自由な舞台空間を作れるので、演劇、会議、展示などあらゆるイベントに利用されています。これからも、奇抜な発想でさまざまな人にぜひ利用してもらいたいと思います。

充実した施設、交通の便のよさ、利用しない手はありません。社会の流れに遅れぬよう、あなたも国際人をめざしませんか。きっと、日本の良さ、そして富山の良さが改めてわかると思います。



ふるさとみてある記

下村

「十二～三年前、友達からチャボ（ニワトリの一品種）をもらったのがきっかけ。羽の美しさ、鳴き声のおもしろさに魅せられて。」という多胡昭作さんは、いろいろな種類のニワトリを飼育している。

まずはチャボから

多胡昭作さん(56)

「どうせ、飼うんなら、雑種よりもちゃんとした血統のもののほうが。」と、五年前から本格的に飼育を始め、自分で買ったり、友達とヒナを交換したりして、増やした鳥は現在十五種五十羽。餌も自分で魚のザン（骨や内臓）を調合するなど工夫。そんな努力のかいあって、去年は県のニワトリの審査会で「河内奴」という品種が最優秀の成績を収めるに至った。

「毛がフサフサしているのは、烏骨鶏。この卵はリューマチ、神経痛に効くんです。また、鳴き声でおもしろいのは、オ～～～と独特の抑揚をきかせて鳴く、唐丸という黒くて青みがかった光沢を持つ品種。それに二十五秒以上鳴き続けたのもいるという東天紅。」

この他にも、闘鶏として有名な軍鶏（しゃも）や孔雀（くじゃく）なども居る。特に孔雀は、近所の園児たちが写生に来るなど人気を集めているという。

「なーに道楽ですよ。」毎朝、鳴き声を一通り聴いてから会社へ出勤するという多胡さん。鳥の話になると自然に目が輝く。去年に引き続き、秘かに今シーズンの受賞をめざしている。

古式ゆかしく、ブリ分け神事

野上克美さん(60)

新年を祝い、氏子、参拝者の一年の息災、厄除け、安息を祈るブリ分け神事。出世魚として縁起のよいブリを用いたこの神事は、九百二十年余り続いている一風変わった下村加茂神社の祭礼―。

元旦、午前十時。幣殿（へいでん）正面の新筵（むしろ）の上に大晦日のうちに塩で清められた五本のブリが並べられる。宮司の祝詞と共に羽織はかま姿に威儀を正した男がブリの一本、一本のヒレを立て、次いで高高とブリを持ち上げて神前に報告する。

「加ァ茂オ…、小オ杉イ…。」力強い声が響く、三本の「加茂」が済むと「小杉」、「柳瀬」とブリを献上した地区名が読み上げられていく。

ブリの読み上げに続いて、献酒、祝い年と厄年を迎えた氏子たちの玉ぐし奉殿と、式は参列者全員が頭を垂れたおごそかな雰囲気の中、粛粛と進められる。

神事終了後、白紙で口を覆った切り役がブリを氏子の家の数に切り分ける。それを各集落の宮委員がもちと一緒に三方に載せ、一戸一戸、新年のあいさつとともに配る。

この行事を神職の目から長らく見てきた野上克美さん(60)は、「ここまで続いたのも村全体の協力があったから。」と静かに語る。

下村の概要

人口　1,970人（昭和63年12月1日現在）

面積　5.15㎢

現在は純農村地帯であるが、江戸時代には参勤交代の宿駅に定められ、家数200戸中、半数が商家だったと伝えられている。また、加茂神社には、今も春祭りの〝やんさんま〟秋祭りの〝カットンド〟（稚児舞）など古い行事が数々伝わっており、特に牛乗式は全国でこの社だけのものとして有名。

「神人共食」のなごりを残すこの行事。氏子たちは神からの授かりものを家族全員で食べ、一年の無病息災を祈る。

〝流鏑馬の里〟を支える愛馬クラブ

近藤繁二さん(44)

「群衆のざわめく中に射放つや青竹の矢は天もとどろに」と詠まれている下村の〝やんさんま〟。毎年五月四日、境内を埋める大観衆のどよめきと大地を蹴るヒヅメの響きが交錯する中、天下泰平と射水平野の五穀豊穣を祈願して行われる。

伝統行事として脈々と受け継がれる〝やんさんま〟。その後継者を育成するため作られたのが愛馬クラブだ。馬を愛する会員が約二十名。下は中学生から上は五十歳くらいまで。毎週月曜日、やんさんまに向けて加茂神社横の馬事公園で馬術を磨いている。

「騎手はやんさんまの前日、宮の中に泊まって精神を集中。朝風呂でみそぎをして備えます。いざ本番となると、緊張のためか顔色が変わって、神様が乗り移ったようになるんです。もっとも私は馬が暴走しないように、うまくいきますようにと、本当の神様にただひたすら祈っているんですけども。」と語ってくれる同クラブ会長の近藤繁二さん(44)。最近では、下村小学校に馬術クラブができるなど馬術の盛り上がりに目を細める。

「やんさんまは村の財産。騎手を育てながら、これからもずっと守り続けていきたい。」

人馬一体の妙技、この春にはまた鎮守の森に大歓声が沸き上がる。

確定申告はお早めに！

3月15日まで

昭和六十三年分の所得税、贈与税、住民税、個人事業税の確定申告の期限は『三月十五日』です。期限間近になると税務署の窓口が混み合い、長時間待たされたり、落ち着いて相談ができなかったりしますので、申告は早めに済ませましょう。

所得税、贈与税の確定申告をしなければならない方

①事業を営んでいる方や不動産収入のある方、不動産を売った方などで、これらの所得が基礎控除などの所得控除の合計額を超える方。

②サラリーマンで、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が二十万円を超える方。

③個人から贈与を受けた財産の合計額が六十万円を超える方などです。

また、確定申告をすることによって、既に支払った税金の一部が戻ってくることもあります。

住民税、個人事業税については、所得税の確定申告書を提出されれば、市町村、県への申告は不要となります。

なお、手続きその他くわしいことは、最寄りの税務署までご相談ください。

富山税務署　0764・32・4191
高岡税務署　0766・21・2501
魚津税務署　0765・24・1370
砺波税務署　0763・33・1073

海にごみを捨てないで！！

「海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律」が一部改正され、船舶の日常生活に伴って発生するゴミの排出規制が強化されました。

- 三海里未満の海域
  ――全てのゴミの排出禁止
- 三海里以遠の海域
  ――焼却または粉砕が必要

その他詳しくは、伏木海上保安部（☎0766・44・0195）へ

原宿を五感で体験しよう
原宿ウオッチング

四月に東京原宿を十八万本のチューリップで飾ろうという「TOYAMA NOW in 原宿'89」が予定されています。「原宿ウオッチング」は、このプレイベント。富山の人に、直に原宿を体験してもらうため、原宿人が、原宿を案内してくれるというものです。

全国が熱い視線をよせる街、原宿を歩いて体験し、富山の街づくり、人づくり、ショップづくりに役立ててください。感性をみがきたい方、好奇心旺盛な方、魅力ある街づくりをめざす方、どんどんご参加を。

期間／三月三十一日まで
月～金曜日　十時～十七時
対象／県内在住の十五歳以上の方などなたでも
参加費／無料（旅費は各自負担）
仕事や旅行でいらっしゃったついでにどうぞ。
詳しくは、県庁企画調整室（0764・41・2100）

あなたも世界へ
総務庁青年海外派遣団員募集

青年海外派遣
派遣先／アフリカ、中南米、オセアニア
期間／九月から十月の三週間
対象／二十～二十九歳

東南アジア青年の船
派遣先／アセアン諸国
期間／九月から十一月の約六十日間
対象／十八～三十歳

世界青年の船
派遣先／南西アジア、中近東アフリカ、ヨーロッパ
期間／平成二年一月～三月の約七十日間
対象／二十～二十九歳

※応募期間は、三月十日～四月十日。
詳しくは、県庁婦人青少年課（内線763）へ。

参加者募集中

富山県コロンブス計画シンポジウム

イベントを通した地域づくりをめざしている「富山県コロンブス計画」。この一年間の活動をとりまとめ、来年度の「イベントシナリオコンペ」の趣意書の作成を狙ってシンポジウムを開きます。

日時／２月25日（土）　午後１時半～５時
場所／オルビス（マリエとやま７階）
内容／講演（東京大学教授　木村尚三郎氏）
パネルディスカッション
※詳しくは、県庁企画調整室（☎0764・41・2100）へ。

県政の動き

12月11日～1月10日

12月13日　県高校文化祭―書道展―（～15日）

12月14日　富山県高等学校生徒等海外派遣結団壮行式

12月15日　スポーツ振興審議会

12月17日　県高校文化祭―美術展―（～19日）

12月18日　愛の年末児童福祉大会

わたしたちの壁画'89（～1月29日）

12月20日　植物公園構想懇談会

12月22日　食料品の公開価格調査

12月23日　青少年保護育成審議会

12月27日　県立大学起工式

1月7日　中核農業士・青年農業士等の集い

あなたの声を県政に（県政モニター募集）

仕事／県政に関するアンケートへの回答、意見・要望の提出。

募集人員／五十名

任期／二年

資格／県内に居住する満二十歳以上の方。

ただし、公職選挙法による公職者、公務員、及び県政モニター経験者は除きます。

応募方法／はがきに下記の要領で

締め切り／三月三十一日（消印有効）

※詳しくは、県庁広報課（内線326）へ

郵便はがき
930-□□
富山市新総曲輪一ー七
富山県庁
企画県民部広報課　行
住所
氏名　性別
生年月日
電話番号
郵便番号

「県政モニター」に応募します
1 職業区分・勤務先
2 各種モニター経験の有無
○○年度　○○モニター
3 県政モニター応募の抱負

職業区分

①農林・漁業②建設・製造業③商工サービス業・自由業④主婦⑤無職

平成元年3月街頭献血日程

日	曜	場所	時間
1	水	八尾町役場前	9:30～13:00
		八尾町中央公民館前	14:00～15:30
2	木	井波町保健センター前	10:00～15:30
4	土	富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
5	日	小杉町「パスコ」ショッピングセンター前	10:00～15:30
6	月	福光町福祉会館前	10:00～15:30
11	土	富山西武前	10:00～16:00
		高岡市ジャスコ高岡店前	10:00～15:30
12	日	富山西武前	10:00～16:00
17	金	小矢部市役所前	10:00～15:30
18	土	高岡駅前	10:00～15:30
		魚津市サンプラザ前	10:00～15:30
19	日	富山市中央通り	10:00～16:00
25	土	高岡駅前	10:00～15:30
		富山駅前	10:00～16:00
26	日	高岡駅前	10:00～15:30

ご家族でどうぞ ねいの里行事　春一番の生きものたち

早春の雑木林や水辺を散策し、春を告げる花や野鳥、生きものを観察しよう。

日時／三月五日(日)午前九時～十二時

場所／自然博物園ねいの里フィールド

服装／ハイキングスタイル（防寒服、長靴）

携行品／雨具、筆記具、昼食、図鑑や双眼鏡（持っている人）

対象／小学生以上（家族連れ歓迎）

※申し込みは、三月四日までに自然博物園ねいの里（☎0764・69・5252）へ。

WANTED　募集　児童福祉週間標語

作品／明日の社会を担う児童のすこやかな成長と望ましい環境づくりをめざす児童福祉週間（五月五日～十一日）にふさわしいもの

資格／県内にお住まいの方

応募方法／官製はがき一枚に標語一点

締め切り／二月二十八日

※応募先、問い合わせは、県庁児童家庭課「児童福祉週間標語」募集係（内線420）へ

第44回　県展作品募集

部門／日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

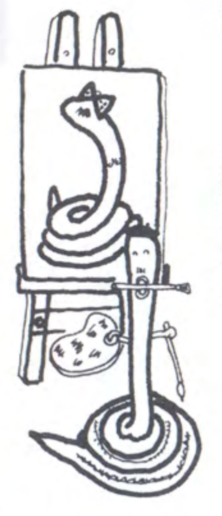
出品資格／県内在住者及び県出身者。中学生以下はのぞく。

搬入／六月五日～六日

展覧／六月十日～十六日

会場／富山県民会館

※規格等詳しくは、教育委員会文化課（内線827）へ



県立近代美術館　岡田謙三展

ユーゲニズム（幽玄主義）とよばれる独特な画風で国際的に活躍した洋画家の回顧展。

期間／二月十日～三月三十一日（月曜、祝日の翌日は休館）

料金／一般七百円、高大生五百円、小中生三百円

※詳しくは、近代美術館（☎0764・21・7111）へ

あなたと考えたい健康づくり　社会保険健康フェスティバル

日時／三月十五日午後一時～

場所／県民会館大ホール

内容／健康づくり講演（中村昌枝）

模範演技（可西バレー団）

特別講演（林家木久蔵）

午前九時から健康相談、成人病予防健診なども。

※詳しくは、県庁保険課（内線428）へ

募集　学生寮入居者（東京）

対象／四年生大学に通う本県出身の男子学生（今春入学見込みの方も）

学生寮	募集人員	一か月あたり費用(食費込)	募集期間
富山県学生寮（府中市）	25名	三万八千円程度	三月三日まで
明倫学館（文京区）	15名	二万八千円程度	二月十三日～三月十三日

※詳しくは、教育委員会総務課（内線258）へ。

企業家精神にみる

心の具現“建築賛歌”

YKK50ビル

「いい建築は、いいなあ」と、吉田忠雄社長を唸らせたのは、昭和五十七年九月のことだった。世界四十か国に支社・工場を持つYKK発祥の地に、〝国際交流〟を設計テーマにした外国人社員の宿泊施設（前沢ガーデンハウス／建築百選選定）が完工したときの言葉である。この一言が、二年後にYKK50ビルを建築させたのである。

黒部市の郊外（前沢）に、国際企業らしい建築を構想したのは副社長・吉田忠裕氏であった。彼は様々な角度から検討を加えながら、前沢ガーデンハウスの設計を国際派として知られる建築家・槇文彦氏に依頼した。

世界の国から人が集い来る「大きな家」をイメージしたと言われるように、国際的なふれあい空間としては優れた建築と評価が高い。しかも、設計は日本の文化と英知を表現するものでなければならないという姿勢を貫き、地元文化の核となるべきモニュメンタリーな役割にも配慮されている点が、「建築百選」の中でも特に優れた建築と言われる所以である。

「槇先生に依頼して、私自身、建築に対して開眼させられましたね。まるで、クライアントというよりも、先生と生徒のようなものでしたよ」

温厚にして鋭敏な神経を感じさせる忠裕氏らしい謙虚な言葉だが、まさに、この邂逅とも言うべき大きな出会いが、次の建築（YKK50ビル）を可能にしたのである。

「社長が記念すべき五十周年までに、YKKの精神を表現するようないい建築を創ろうと決断したのは、記念式典の十七か月前でしたからね。とてもやれる時間ではありませんよ。でもね、やれると判断できたのは、企業のポリシーが明確かつ徹底して生かされていたからですね」

創業以来〝和の精神〟とか〝善の巡環〟と言われる企業理念が、ここに複合機能を持ちながら〝一体感〟を感じさせる建築を創出した。まさに、企業の心を建築すると言った〝建築賛歌〟である。大きな〝森〟の中で、〝共に働く〟という夢を具体化した建築、しかも世界へ開かれた創造空間という印象がYKK50ビルである。

一人の建築家との出会いは、建築との出会いであった。そして、直後に動き始めたプロジェクトでは自ら〝建築家〟を演じることになった忠裕氏は、複数の有能な専門家に支えられながら、YKK五十年の歩みを、そして未来（五十年後）へ向かっての夢を、建築という舞台で見事に舞って見せた偉才の企業家と称賛すべきであろう。そんな時代の最先端をいく企業にありながら、彼のもう一つの言葉には建築家・吉田忠裕の横顔が見えた。

「柱一本残す心が大切ですね。全てを新しいものに変え、創造していこうという時でも、そんな視点を喪失してはいけないと思います。そんな目で富山を見直せば、何と〝本物〟が多いことでしょう。」

写真：風間耕司
文：岡田順一

見て感じて　県政広報映画

イメージアップビデオ

『伝承の世界』

親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた富山県内各地の文化。高岡御車山、下村加茂神社の稚児舞、やんさんまなど、有形・無形の伝統芸能を、「能」の伝承を軸にして多数紹介しています。

「能」の幽玄さと華やかな文化が織り成す世界は、富山の素晴らしさを余すことなく表現しています。

カラービデオ15分
ナレーター　草野大悟
▼利用申し込みは、県庁広報課へ。

みなさんの相談窓口

県政については

県民相談室	富山市新総曲輪1-7（県庁内） ☎(0764)31-4111㈹ 31-3131（県民電話）
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211（総合庁舎内） ☎(0766)21-9411㈹
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7（総合庁舎内） ☎(0765)24-5311㈹
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7（総合庁舎内） ☎(0763)33-5151㈹

消費生活については

消費生活センター
富山市安住町7-18
安住町第一生命ビル内
〈一般相談は〉
☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉
☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1
本丸会館内
☎(0766)25-2777

交通事故については

富山県交通事故相談所
県庁2階
☎(0764) 31-4111内759

相談110番

暴力団、家庭問題、覚せい剤、悪質商法、困りごと、警察に対する要望や苦情など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110（ヨニ ワルイヒトナシ）

見てください・聞いてください、県からのホットニュース

テレビ広報 TV

- 北日本放送　毎週日曜日　AM8:00～8:30
  こんにちは富山県です
  2/19　明日を拓く少年スポーツ
  2/26　ふれあい活動最前線
  ～日本一安全な県づくりをめざして～
  3/5　スパイクタイヤによる道路粉じんを考える
  3/12　デザイン元年に向かって
- 富山テレビ　毎週日曜日　AM9:00～9:30
  「110万人のひろば―クイズ！フォーカス・イン」

ラジオ広報 RADIO

- FMとやま
  「ふれあいホットライン」
  県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけします。
  毎週月～金曜日　AM9:30～9:35

新聞広報 NEWSPAPER

- 北日本、富山、読売、北陸中日
  毎月第2土曜日
  「県からのお知らせ」
  毎月最終土曜日
  「みんなの県政」
- 朝日、毎日
  毎月第2、最終土曜日
  「県からのお知らせ」

編集後記

★表紙のクロスカントリースキーの写真撮影に同行しました。その天気のいいこと、立山も一層雄大に見えました。そんな中でスキーをしている彼等の顔はどれも輝いていて、これはいい写真が撮れるなと思いながらも、仕事の身の自分がつくづく恨めしく感じられました。（M）

★冬のイベントとしてすっかりおなじみの「日本海なべ」。今年は陽気に誘われたせいか例年以上に大勢の人でにぎわいました。会場のそこかしこで「なべ」を食べている家族連れ。冬の穏かな日差しがこうした光景をより一層微笑ましく見せてくれました。（H）

★雪特集をしたものの、今年も今のところ暖冬。富山県が雪対策に取り組み始めた四年前から雪が少なくなりました。せっかく遊んでやろう、利用してやろうと手ぐすね引いて待っているのに……。富山は雪国ではなくなったのでしょうか。こんな冬に慣れてしまうのがコワイ！（A）

富・愉・人のすすめ

冬のとやまを撮ってください

題材はけっこうにぎやかです。冬の海・歳の市・クリスマス・大晦日・初日の出・初詣・年始・初荷・出初式・書初・左義長・初午・成人式・雪まつり・寒中水泳・寒稽古・スキー・雪だるま・大雪・雪おろし・立春・節分・春の雪・梅と雪・寒つばき、などきりがありませんネ。ま、とやまの冬ならなんでもいいのです。

あなたご自身やご家族、お友だち、そしてたくさんの人たちがとやまの冬をどうすごしたのか、どんな遊びをしたのか……などを記録して送ってください。いっぺんに集めて、みんなでながめてみるのも、なんだかおもしろいじゃないですか。

この冬富山を愉快に撮ろう……富・愉・人になることをおすすめします。

公募 写真

ズームアップとやま

題材　1988年12月25日―1989年2月19日に富山県内で撮った、冬のとやまに関する写真なら何でもOK！

応募資格　県内在住の方。もしくは、偶然にも富山県にいたひと。

応募作品　4切りまたは、ワイド4切りプリント（カラー、モノクロを問いません）。おひとり1点に限ります。

応募方法　応募票をそえて、富山県カメラ商組合加盟店や、ポスターの掲示してあるカメラ店か県庁広報課にご持参ください。

応募票は、前記カメラ店・市町村窓口・県庁広報課にあります。

応募期間　1989年1月9日―2月24日

問い合わせ先　富山市新総曲輪1-7 富山県企画県民部広報課

☎(0764)31-4111(内線327～8)

参加作品は、すべてパネル化し、3月19日(日)―3月21日(火)富山県民会館で行われる「ズームアップとやま」で展示いたします。

参加作品は、パネル付きで3月下旬応募されたカメラ店を通してお返しいたします。すてきな作品は、県や市町村の広報誌などに使用させて頂く場合もあります。

協賛―北日本新聞社、富山県写真家協会、県カメラ商組合、富山フジカラー、アポロン、コニカカラー北陸

後援―富山県教育委員会、富山県市町村会、富山県町村会

企画発行　富山県企画県民部広報課　富山市新総曲輪1の7　☎31-3131（県民電話）　／印刷 ㈱チューエツ